

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	職員の配置数は適切であるか	100%			毎日必要な人数の職員を配置している
	②	変更申請等を適切に行っているか	100%			職員の増減等あれば随時行っている
	③	運営規定等、事業所内に適切に貼りだしているか	100%			保護者も見ることが出来る相談室に配置している
業務改善	④	業務改善を進めるため、目標を持って職員が参画し、振り返りを行っているか	100%			その日の療育内容に目標を定め全員で確認相談の上実施し、その振り返りを行っている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			毎年アンケートを行い、その内容を事業所の運営、活動にフィードバックしている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			自社のウェブサイトにて公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	28.6%	42.8%	28.6%	外部の先生に都度確認を行い、改善できるところを対応している
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			毎週火曜日に全体でケースカンファレンスや研修などを行っている
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	85.7%	14.3%		アセスメントシートの記入や保護者面談にて聞き取り、児童の様子から職員で話し合って作成している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	57.1%	42.9%		事業所でwisc検査の対応を行っている
	⑪	活動プログラムの立案を行っているか	100%			各職員持ち回りで立案するとともに職員同士で話し合い行っている
適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			児童の様子や課題に合わせてプログラムを組み立てている
	⑬	平日、土曜日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	85.7%	14.3%		曜日ごとの通常カリキュラムの他、長期休暇には学校の生活リズムが崩れないよう、椅子に座っての学習時間を設けるなどしている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	85.7%	14.3%		集団活動に重きを置きつつも、児童の様子や状況に応じて個別にタイムアウトを取りSSTを行っている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	85.7%	14.3%		児童のグループ分けや担当、療育の内容について、試行を行うとともに話し合って決めている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	85.7%	14.3%		気になる点は必ず報告を行い、今後について話し合いを行っている

	(17) 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			支援記録を欠かさずつけています
	(18) 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	85.7%	14.3%		6か月に1回を目安にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。火曜日の研修を使い職員からの意見も取り入れている
	(19) 送迎車等の整備・点検等、適切に行われているか	85.7%	14.3%		担当者を決め点検を行い、不備がないように対応している。送迎者は車についての気付きを担当に伝えるようにしている
	(20) 自由時間・療育等で使用する遊具等の備品は、安全面に配慮し点検されているか	85.7%	14.3%		安全面に配慮された素材、設計の遊具を使用している。また、担当者を中心に点検等も行っている
関係機関や保護者との連携	(21) 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			管理者、児発管、障害福祉部長が出席している
	(22) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			予定表を共有し、連絡を密に取り合う担当者会議などに参画することで情報共有をおこなっている。また、保護者の管理が難しい場合には直接学校と予定表のやり取りを行っている
	(23) 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	28.6%	71.4%		保護者からの要望によって保育園等と共有することがあるが、今まで1件しかない
	(24) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	57.1%	28.6%	14.3%	保護者からの要望にあわせて必要であれば情報提供している
	(25) (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	42.8%	28.6%	28.6%	主に担当者会議などは重点的に行っておりが協議会についても今後参加していきたい
	(26) 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			送迎時の会話や連絡ノートなどで情報や児童の様子や課題を共有している。また、必要に応じて保護者面談を行っている
	(27) 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%			保護者に対しても困り感が減るように、責任者や専門の公認心理士が行っている
保護者への説明責任等	(28) 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			保護者に細かく説明を行っている
	(29) 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			保護者面談や、送迎時、電話など、様々な形で対応している
	(30) 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14.3%	42.8%	42.8%	保護者会などの開催はないが、行事等を通じて交流できる機会はある

非常時等の対応	(31) 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100.0%			苦情について真摯に対応し、早く幹部会を開き、内容を職員と共有することで解決、再発防止に務めている
	(32) 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	57.1%	42.9%		常に見学を受け入れており、イベントや行事の際にはプリントをお渡ししている
	(33) 個人情報に十分注意しているか	100.0%			全て鍵付きの書庫で保管し、部屋も施錠している
	(34) 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100.0%			電話が難しい方にはメールでやり取りをするなど、個人に合わせた対応をしている
	(35) 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	28.6%	57.1%	14.3%	イベントを行った際には地域の方も参加していただいている
	(36) 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100.0%			避難についての研修を行い、訓練も行っている
	(37) 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100.0%			虐待防止研修を行っている
	(38) どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100.0%			事前に保護者に十分な相談、説明をし、職員にも対応の仕方を伝えた上で、やむを得ないケースに限るようしている
	(39) 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	85.7%	14.3%		保護者に詳しい情報を聞き、確認の上で除去等の対応をしている
	(40) ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	42.8%	42.8%	14.3%	事例集ではないが都度報告して共有している。ただ、共有が不足している日もあった